

(様式第 7 号)

## 地域の課題解決のための活動報告

記入日：平成 30 年 5 月 31 日

作成者：園田絵里

地域の課題解決のために行った活動を1つ選び、できるだけ具体的数値を挙げて報告してください。すべての項目に、一般の人に伝わりやすいようにご記入ください。

＊この報告はあしや市民活動センターのホームページに掲載されます。

(登録を公開している団体のみ)

|                                                                                                                                                                                                        |                                   |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|
| 団体名                                                                                                                                                                                                    |                                   |
| ジェンダーフリーを考える会                                                                                                                                                                                          |                                   |
| 事業名                                                                                                                                                                                                    | 日時（期間），場所                         |
| ワークショップ ブックトーク<br>女性詩人 茨木のり子の詩を読む                                                                                                                                                                      | 平成 30 年 3 月 16 日 10 時から 11 時 30 分 |
| 内容（実績）＊実施したことを具体的に                                                                                                                                                                                     | 受益者数                              |
| 女性詩人 茨木のり子の詩から、自分が好きなものを選び、参加者が一人ずつ詩を朗読し、その詩に惹かれたわけ、選んだ理由などを述べる。同じ詩人の作品でも、重複した詩はなく、7 人とも別々の詩を選んだ。選んだ本人が詩を朗読し、選んだ感想を述べた後は、他の参加者がその詩についての感想を述べ、意見交換をした。                                                  | （ 7 ）人                            |
|                                                                                                                                                                                                        | 参加者数                              |
|                                                                                                                                                                                                        | （ 7 ）人                            |
| 成果（社会へのインパクト）＊どのような良い変化を社会にもたらしたかを具体的に                                                                                                                                                                 |                                   |
| 同じ詩が重ならなかったということもそうだが、詩についての感想も、同じものではなく、感じ方は人それぞれなのだと実感した。また「いい感想」「悪い感想」というものもなく、同じ詩でも全く違う感じ方があるのだと分かり、多様性の重要性を理解した。ジェンダーの視点に立った作品を読むことで、新たな視点を獲得する一歩となる。                                             |                                   |
| 今後の展望（どのように継続、発展するか）                                                                                                                                                                                   |                                   |
| 機会があれば、同様のブックトークを開催する。ピンポイントで本を選択するのではなく、大まかなテーマ（「まち」「地域」「市民」など）を決め、参加者はそのテーマに合うと思う本を持参し、なぜその本がテーマに合っているかを論じあうという手法もある。それによって気づけなかった地域の課題解決への糸口が見つかるかもしれない。<br>男女共同参画社会の実現に向けて、できるだけジェンダーの視点を強調していきたい。 |                                   |

